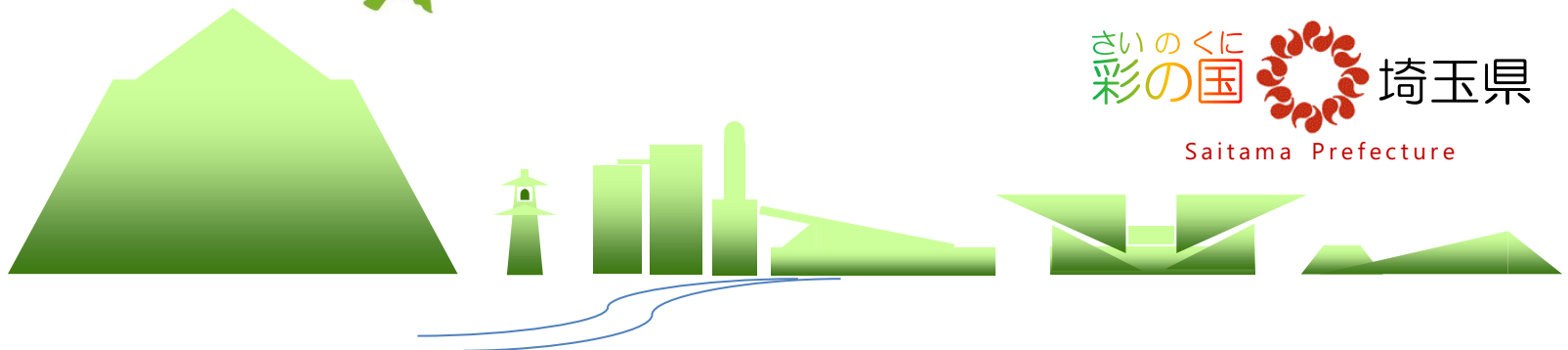


埼玉県の財政状況と 起債運営の基本的な考え方

平成29（2017）年11月



埼玉県のすがた ～人口・産業・交通 ポテンシャルが高い～

- ◆ **約730万人**の人口はスイスに匹敵・・・平均年齢、生産年齢人口割合とも全国屈指の若い県
- ◆ 多種多様な産業が集積し、**約21兆円**の名目GDPはチェコやニュージーランドに匹敵
- ◆ 利便性の高い交通網や災害リスクの低さも本県の魅力

総人口 **727万人**(全国**5位**)

出典 平成27年(2015)国勢調査

1	東京都	1,352万人
2	神奈川県	913万人
3	大阪府	884万人
4	愛知県	748万人
5	埼玉県	727万人

人口増加率 **1.0%**(全国**3位**)

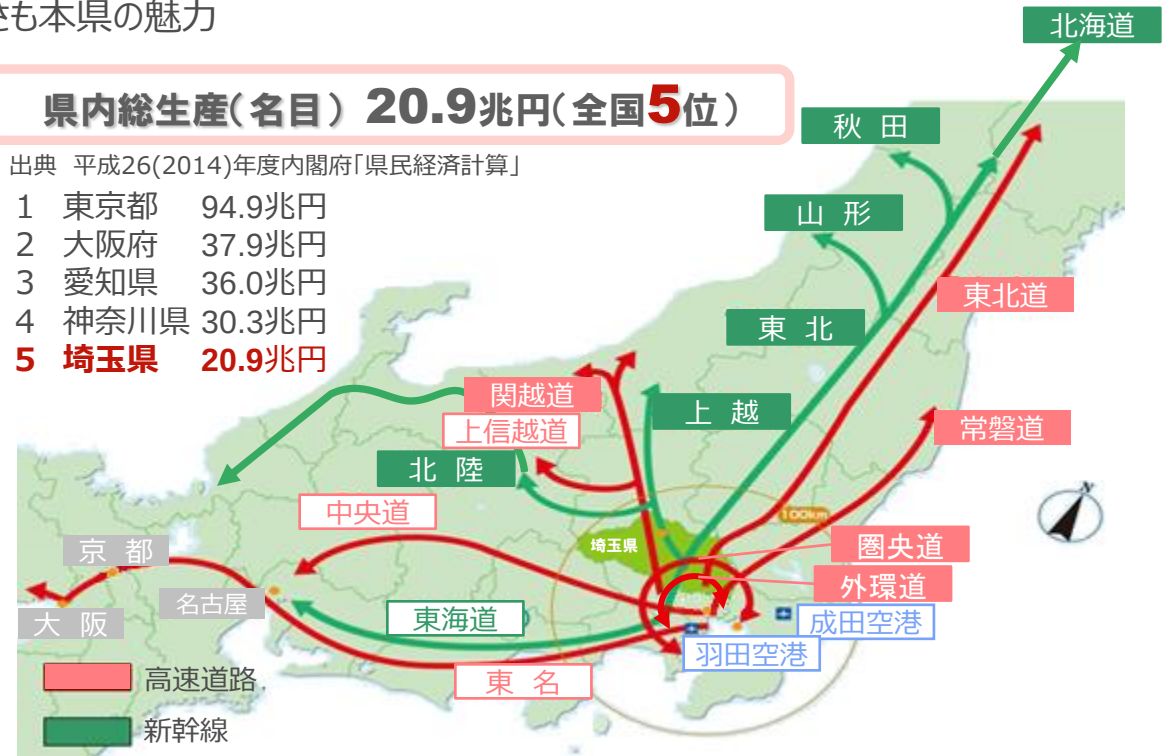
1人当たり県民雇用者報酬 **463万円**(全国**8位**)

出典 平成26(2014)年度埼玉県「県民経済計算」

県内総生産(名目) **20.9兆円**(全国**5位**)

出典 平成26(2014)年度内閣府「県民経済計算」

1	東京都	94.9兆円
2	大阪府	37.9兆円
3	愛知県	36.0兆円
4	神奈川県	30.3兆円
5	埼玉県	20.9兆円



日本一の交通の要衝

- ・東北、上越、更に北海道など6つの新幹線で東日本の主要都市に直結
- ・東日本の大動脈「東北」・「関越」・「常磐」自動車道が南北に縦断
- ・首都圏の高速道路を結ぶ「外環道」・「圏央道」が東西に横断

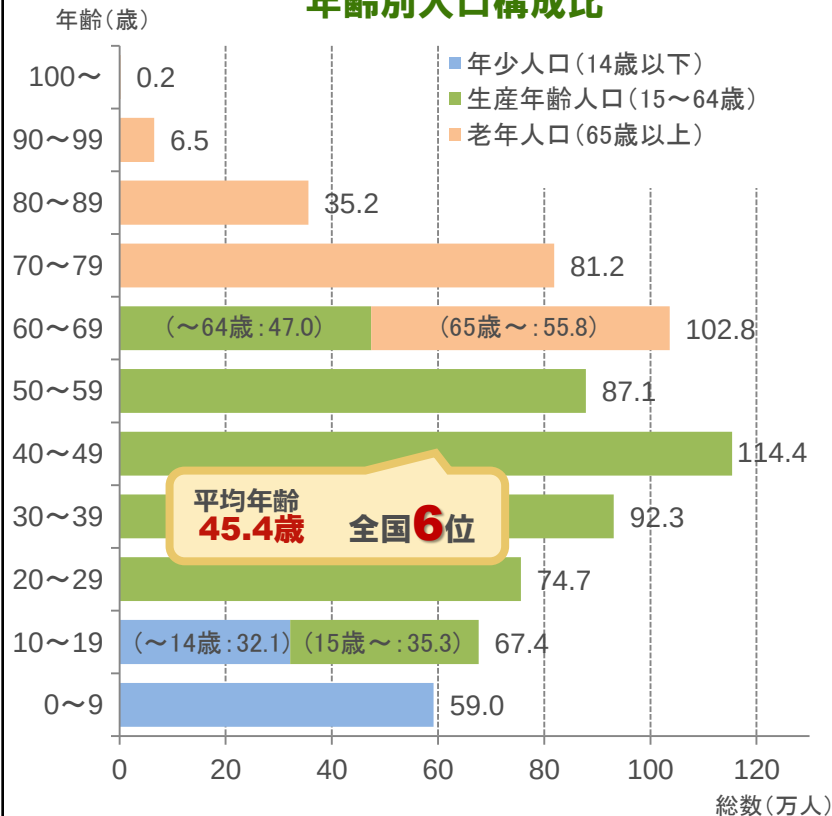
災害発生リスクが低い

南海トラフ地震被害想定 建物被害(液状化、津波等)	埼玉県 700棟	東京都 2,400棟	神奈川県 4,000棟	千葉県 2,400棟
出典 平成24年8月「中央防災会議」(各都道府県で全壊棟数が最大となるケース)				
海岸線延長距離	埼玉県 0km	東京都 762km	神奈川県 428km	千葉県 534km

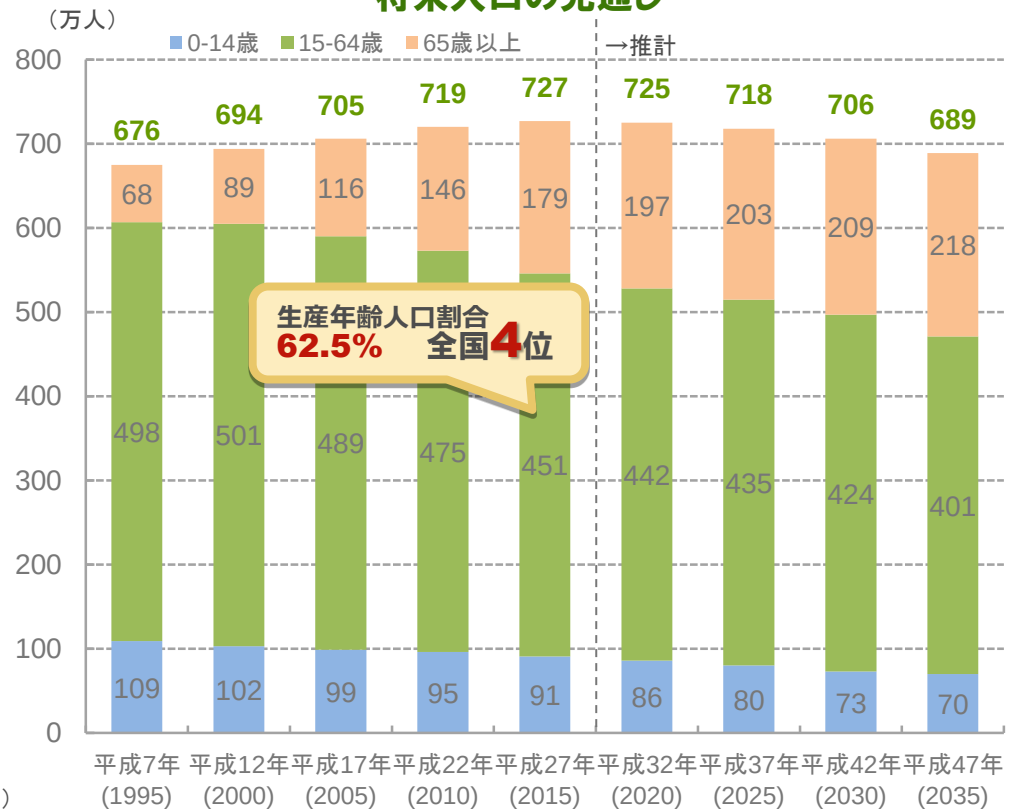
さらなるポテンシャルの高まり① ～若くて労働力が豊富～

- ◆ 平成27(2015)年国勢調査:平均年齢**45.4歳** (全国**6位**)、生産年齢人口割合**62.5%** (全国**4位**)
- ◆ 人口は平成27(2015)年まで増加、平成42(2030)年においても700万人を維持する見通し
- ◆ 平成29(2017)年9月1日現在の推計人口：**730万6,293人**《過去最高》

年齢別人口構成比



将来人口の見通し

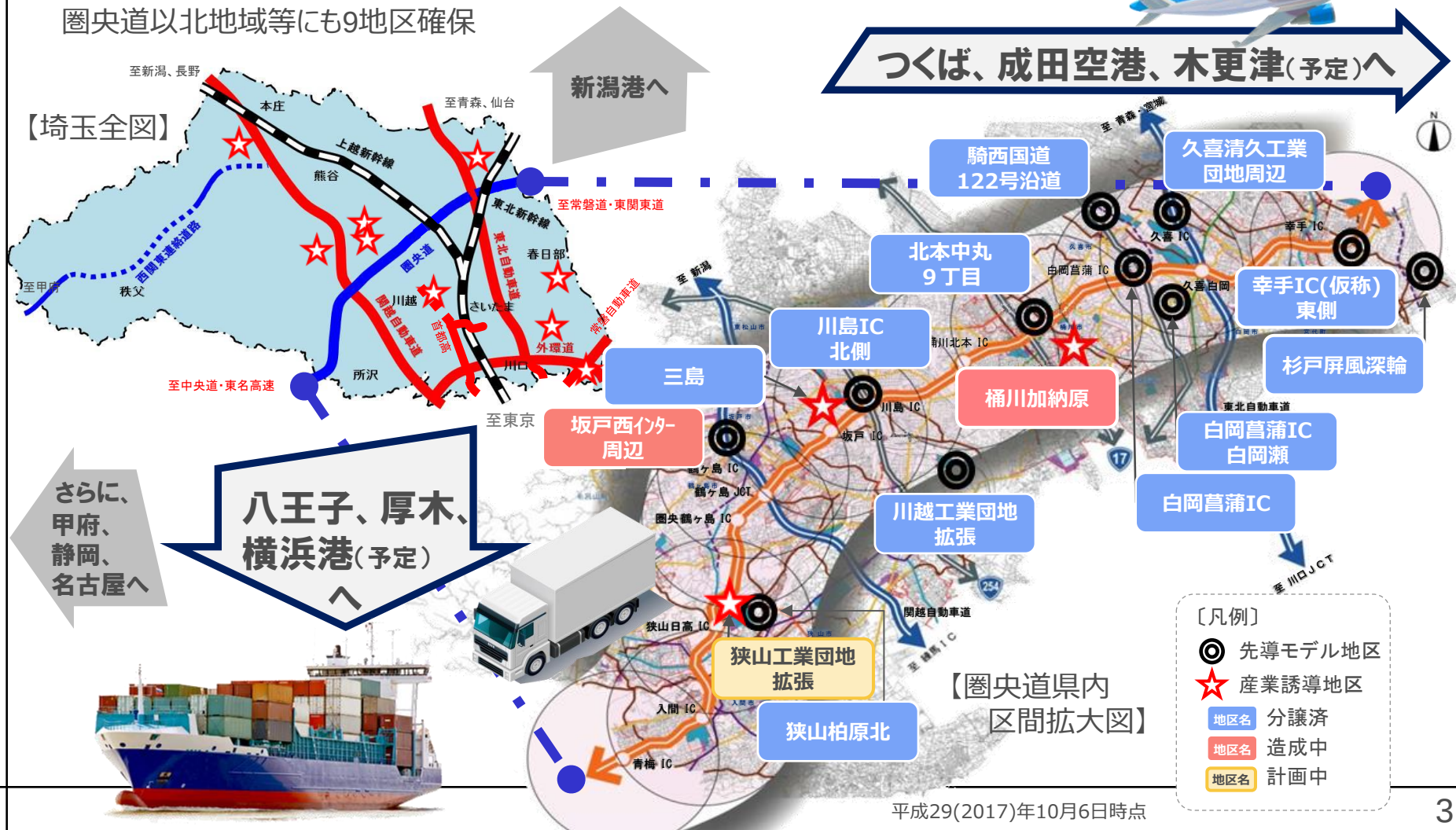


出典 平成27(2015)年総務省「国勢調査」

出典 平成27年までは「国勢調査」(総務省)、平成32年以降は埼玉県推計
※「国勢調査」の人口総数には年齢不詳を含むため、年齢3区分別人口の合計とは一致しない

さらなるポテンシャルの高まり② ～首都圏の物流を変える～

- ◆ 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）県内全区間が**平成27年10月31日に開通**。平成29年2月の茨城県区間開通で東名高速、中央道、関越道、東北道、常磐道、東関東道が都心を通らず圏央道で結ばれた
- ◆ このチャンスを活かし、**14地区の産業拠点**（産業団地）を順次整備
圏央道以北地域等にも9地区確保



さらなるポテンシャルの高まり③ ～メイドイン埼玉で経済をより強く～

- ◆ 大規模工場とそれを支える中小企業が幅広く発達し、多種多様な業種が集積
- ◆ 「チャンスメーカー埼玉戦略」で個々の企業の立地ニーズにきめ細かく対応し、全県を挙げて企業立地をバックアップ
- ◆ 過去10年間の**企業本社転入超過数全国1位**

多種多様な業種が発達

全国有数の工業県

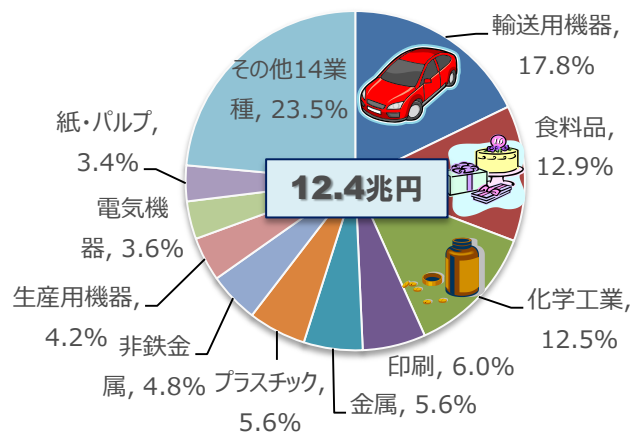
ホンダ、UDトラックスなど大規模工場とそれをサポートする中小企業が立地

医薬品 全国**1**位

精米 全国**1**位

出典 平成26('14)年経済産業省「工業統計調査」

本県の産業分類別製造品出荷額等の構成比

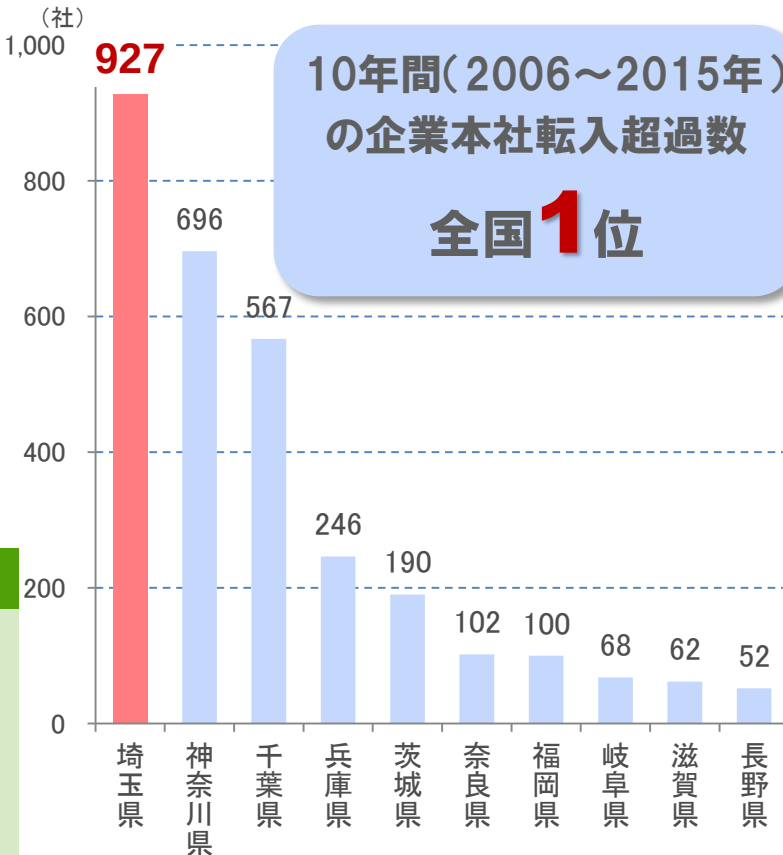


出典 平成26(2014)年埼玉県「工業統計調査（確報）」

10年間の全国の転入・転出企業の状況

10年間(2006～2015年)の企業本社転入超過数

全国**1**位



出典 (株)帝国データバンク『埼玉県・本店移転企業調査』

埼玉県の企業誘致の取組 (平成17(2005)年1月～平成29(2017)年9月)

ワンストップ
でクイック

個々の企業の
オーダーメイド

補助金や
融資制度

強力に
バックアップ

立地件数 **949件**
投資総額 **約1兆4,316億円**
新規雇用 **約31,103人**

(立地企業の計画ベース)

さらなるポテンシャルの高まり④ ～元気な埼玉経済～

- ◆ 銀行・信用金庫貸出金残高が過去14年間で4兆7,133億円増加し、東京都に次いで全国2位の増加額
- ◆ 県内総生産（名目）が過去11年間で1兆368億円増加し、愛知県に次いで全国2位の増加額

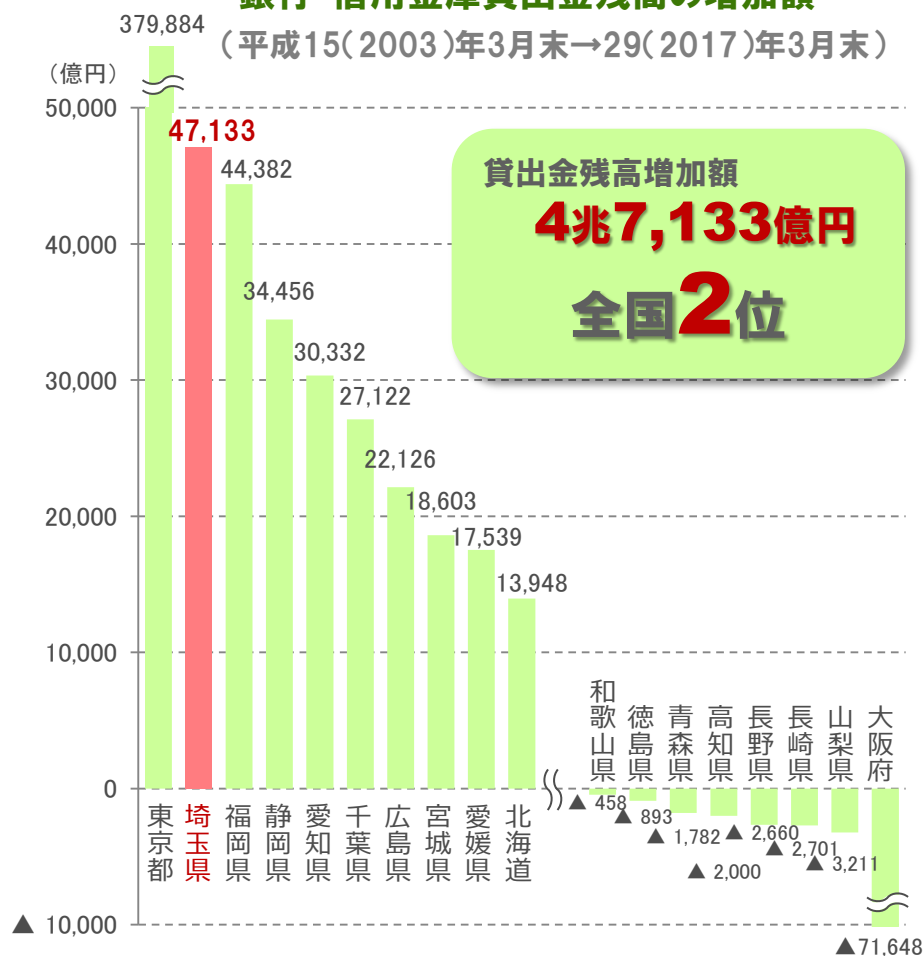
銀行・信用金庫貸出金残高の増加額

（平成15(2003)年3月末→29(2017)年3月末）

貸出金残高増加額

4兆7,133億円

全国2位



日本銀行公表資料（H29.3月現在）、全国信用金庫協会公表資料（H29.3月末現在）による

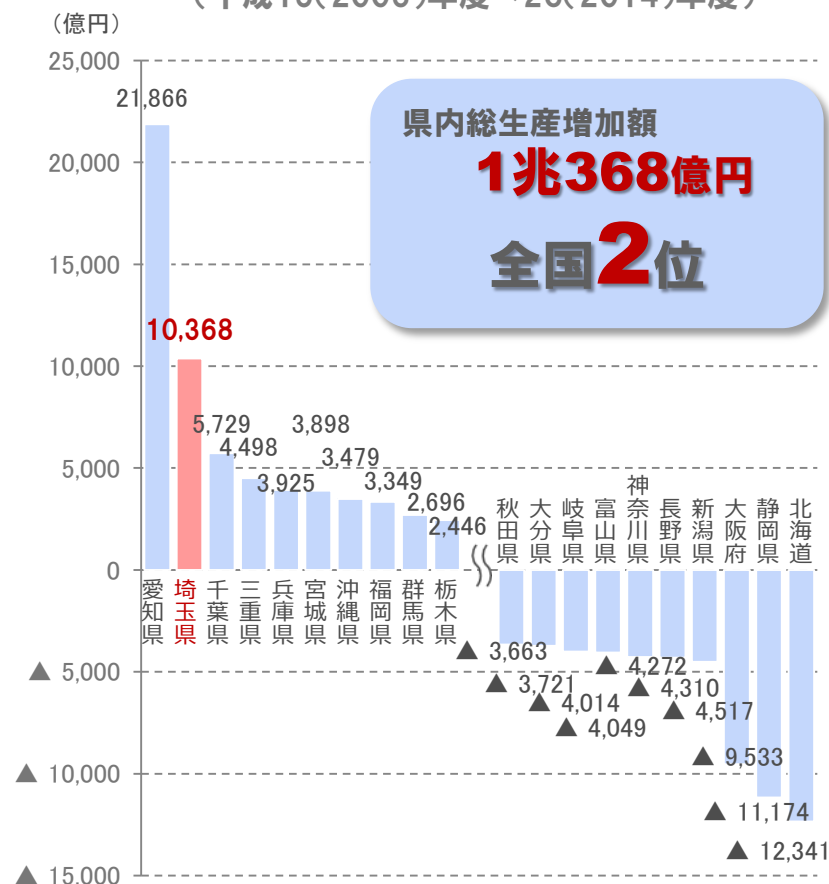
県内総生産（名目）の増加額

（平成15(2003)年度→26(2014)年度）

県内総生産増加額

1兆368億円

全国2位



内閣府県民経済計算（平成13年度 - 平成26年度）(93SNA、平成17年基準計数)

さらなるポテンシャルの高まり⑤ ～次世代産業・先端産業の創造～

- ◆ 我が国を代表する研究機関や大学が集積し、高度な技術を有する人材が豊富
- ◆ その利点を活かし、産学官の連携による新技術・新産業の創出を進める
- ◆ 大学・研究機関等の先端的な研究シーズと企業の優れた技術を融合させ、実用化開発・製品化開発を強力に支援することによって、新たな成長産業を作り出す「**先端産業創造プロジェクト**」を推進

約300の研究機関・大学が集積

- 産学官連携の共同研究を進める「**産業技術総合センター**」や国際的研究機関である「**理化学研究所**」など約240の研究機関が集積
- 「埼玉大学」「早稲田大学」「ものづくり大学」など本県にキャンパスをおく大学は全部で60校



SKIPシティ外観

さらに進出が進む大学・研究機関

- 北の玄関口・本庄市の「**本庄早稲田国際リサーチパーク**」には早稲田大学環境系大学院が設置
- 南の玄関口・川口市の「**SKIPシティ**」には県産業技術総合センター、彩の国ビジュアルプラザなどの映像関連施設が整備



試験用マグネシウム蓄電池セル

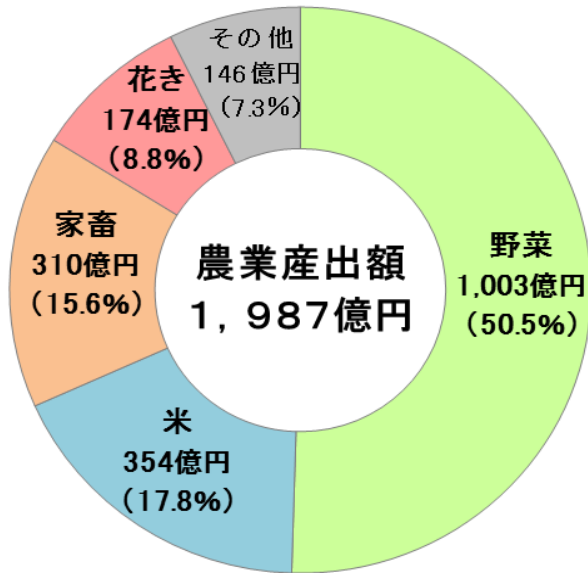
次世代産業・先端産業の支援 「**先端産業創造プロジェクト**」

- 先端産業の育成に関し、全国初の3者協定((独) 産業技術総合研究所 + (独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) + 埼玉県)を締結し、連携
- **ナノカーボン、医療イノベーション、ロボット、新エネルギー、航空・宇宙**を重点5分野に定め研究開発を支援
- **100億円**の「**埼玉県産業振興・雇用機会創出基金**」を設置し、次世代産業分野への進出支援や雇用の創出のため等の先端産業の創出をサポート
- 事業化の際には、県内金融機関と連携し、資金調達面も支援
- 企業の研究開発や事業化支援による製品化見込み件数: 45件(平成29(2017)年度まで)

さらなるポテンシャルの高まり⑥ ～意外と強い農業県埼玉～

- ◆ 農業産出額は1,987億円（平成27(2015)年）で全国17位
- ◆ 日本の人口の「3分の1」を占める巨大なマーケット（首都圏）に位置するという強みを生かして力のある農林業を実現

埼玉県の農業産出額（平成27(2015)年）



出典 農林水産省「生産農業所得統計」

花き 174億円（全国5位）

品目	産出額	全国順位
ゆり（切花）	34億円	1位
パンジー（苗）	7億円	1位
洋ラン類（鉢物）	31億円	2位
チューリップ	5億円	2位



野菜 1,003億円（全国7位）

品目	産出額	全国順位
さといも	78億円	1位
こまつな	53億円	1位
ねぎ	187億円	2位
ほうれんそう	122億円	2位
かぶ	16億円	2位
きゅうり	128億円	3位
ブロッコリー	44億円	3位
えだまめ	38億円	3位



小麦 7億円（全国5位）



清酒の出荷量 全国5位！（平成28年）

さらなるポテンシャルの高まり⑦ ～埼玉県へのインバウンド～

- ◆ 東京のすぐ北に位置し、交通の便も良い埼玉県には、魅力的な観光コンテンツが豊富
- ◆ 「SAITAMAプラチナルート」で埼玉県へのインバウンド

ひきやまつり
日本三大曳山祭の
ちちぶまつり
「秩父夜祭」(12/2, 3)



ライン下り、アウトドアと
ながとろ
天然氷かき氷の「長瀬」



2014年「和紙」ユネスコ
無形文化遺産登録
ほそかわし
『細川紙』関連施設

平成24年国宝指定
めぬましようでんざん
「妻沼聖天山」



アニメ「き☆すた」の聖地
わしのみや
「鷲宮神社」



こま
高麗郡建郡1300年と
曼珠沙華の「日高」



2016年「山・鉾・屋台行事」
ユネスコ無形文化遺産登録
『秩父祭の屋台行事と神楽』
『川越氷川祭の山車行事』



蔵の町並み、菓子屋横丁、
年間**704**万人が訪れる
小江戸「川越」

入館者900万人突破の
「鉄道博物館」と、
世界盆栽大会2017の
会場「大宮盆栽美術館」



出所：川越市観光課

埼玉県の財政規模～平成28(2016)年度普通会計決算～

- ◆「財政規模（歳出決算額）」は全国8位。「財政力指数」（1を超えると普通交付税の不交付団体）は全国5位
- ◆「財政調整基金等」（いざという時への備え）は、平成28(2016)年度は3年ぶりに取崩し
- ◆「財政調整基金等」のほか、福祉や先端産業など、特定目的のための基金を積立てて毎年度活用

財政規模(歳出決算額)	財政力指数	財政調整基金等残高	基金残高合計
1兆7,122億円(+20億円)	0.76593(+0.00045)	684億円(▲129億円)	1,653億円(▲89億円)

(参考)平成27(2015)年度決算での他都道府県との比較 (平成28(2016)年度決算の都道府県別数値は総務省未発表)

順位 (H26)	都道府県 名	金額	順位 (H26)	都道府県 名	値	順位 (H26)	都道府県 名	金額	順位 (H26)	都道府県 名	金額
1	(1) 東京都	6兆9,347億円	1	(1) 東京都	1.00321	1	(1) 東京都	6,248億円	1	(1) 東京都	2兆2,673億円
2	(2) 大阪府	2兆8,236億円	2	(2) 愛知県	0.92052	2	(2) 大阪府	1,887億円	2	(2) 福島県	7,841億円
3	(3) 北海道	2兆4,013億円	3	(3) 神奈川県	0.91745	3	(3) 愛知県	1,585億円	3	(3) 宮城県	3,447億円
4	(4) 愛知県	2兆2,786億円	4	(4) 千葉県	0.77694	4	(4) 神奈川県	1,452億円	4	(4) 大阪府	3,379億円
5	(6) 神奈川県	2兆0,064億円	5	(5) 埼玉県	0.76548	5	(7) 千葉県	824億円	5	(5) 愛知県	2,465億円
6	(5) 兵庫県	1兆9,592億円	6	(6) 大阪府	0.74980	6	(5) 静岡県	814億円	6	(7) 神奈川県	2,213億円
7	(7) 福島県	1兆9,319億円	7	(7) 静岡県	0.70999	7	(6) 埼玉県	813億円	7	(8) 千葉県	2,088億円
8	(8) 埼玉県	1兆7,102億円	8	(8) 茨城県	0.63309	8	(8) 奈良県	720億円	8	(6) 岩手県	1,783億円
9	(9) 千葉県	1兆6,871億円	9	(11) 栃木県	0.62166	9	(14) 新潟県	639億円	9	(9) 埼玉県	1,742億円
10	(10) 福岡県	1兆6,692億円	10	(9) 兵庫県	0.62062	10	(10) 福島県	615億円	10	(11) 奈良県	1,658億円

※財政調整基金と減債基金の合計

※左の財政調整基金等残高を含む

平成28(2016)年度決算の財政指標

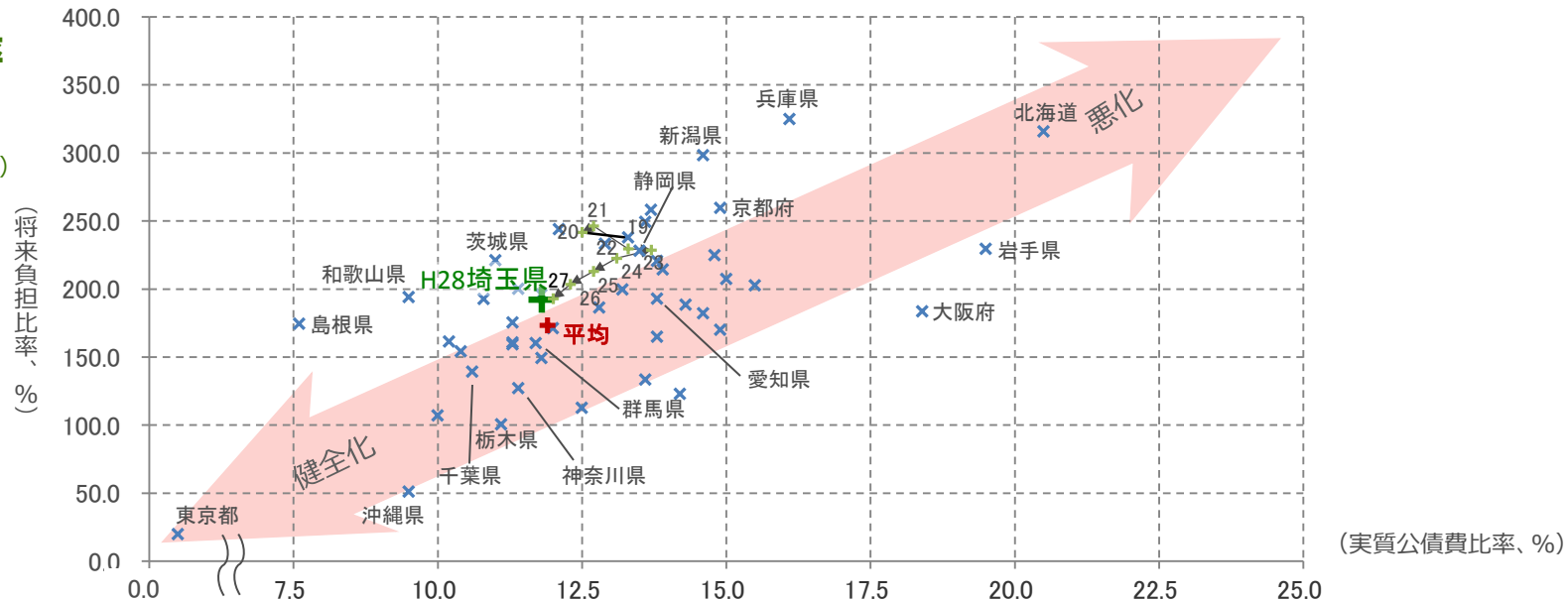
- ◆「実質赤字比率」及び「連結実質赤字比率」は**黒字**。資金不足比率も対象全事業で**資金不足なし**
- ◆「実質公債費比率」及び「将来負担比率」は対前年度比で**改善が継続**。国が定める「早期健全化基準」を下回る水準

財政指標

	健全化判断比率								経常収支比率	
	実質赤字比率		連結実質赤字比率		実質公債費比率		将来負担比率			
	平成28年度 (2016)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成27年度 (2015)
埼玉県	黒字	黒字	黒字	黒字	11.8%	12.0%	192.3%	192.9%	96.9%	94.9%
早期健全化基準	▲3.75%	▲3.75%	▲8.75%	▲8.75%	25.0%	25.0%	400.0%	400.0%		
資金不足比率	病院事業会計、工業用水道事業会計、水道用水供給事業会計、									
資金不足なし	地域整備事業会計、流域下水道事業会計									

健全化判断比率 の他都道府県 との比較

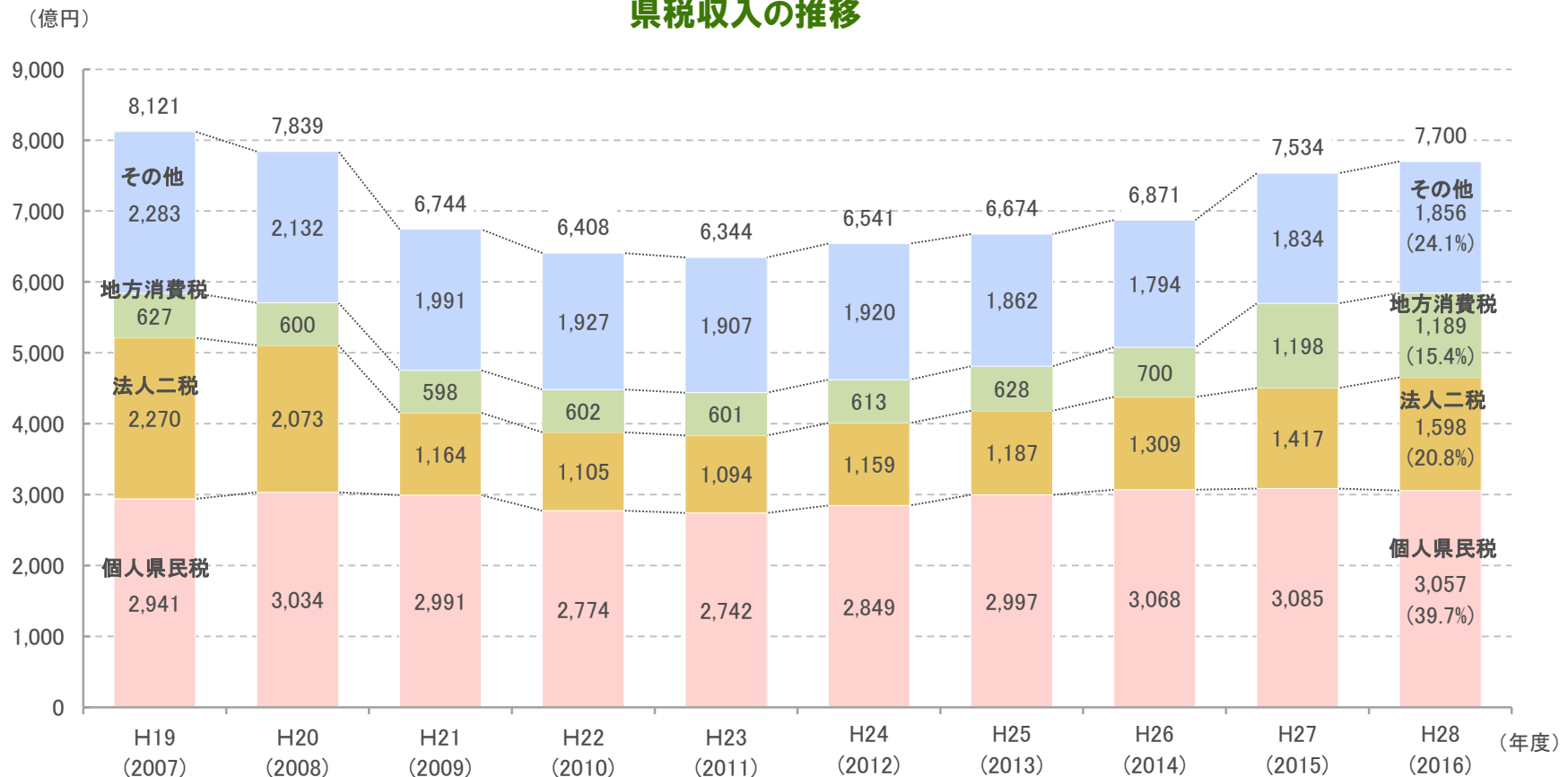
(数字は本県の過去の実績)



県税収入の推移

- ◆ 平成28(2016)年度決算は7,700億円で、5年連続で前年度決算額を上回る
- ◆ 株価低迷の影響で個人県民税の配当割や株式等譲渡所得割が減収となるも、特に非製造業における業績の好調を反映して法人事業税が伸びた結果、県税全体では増収となった

県税収入の推移

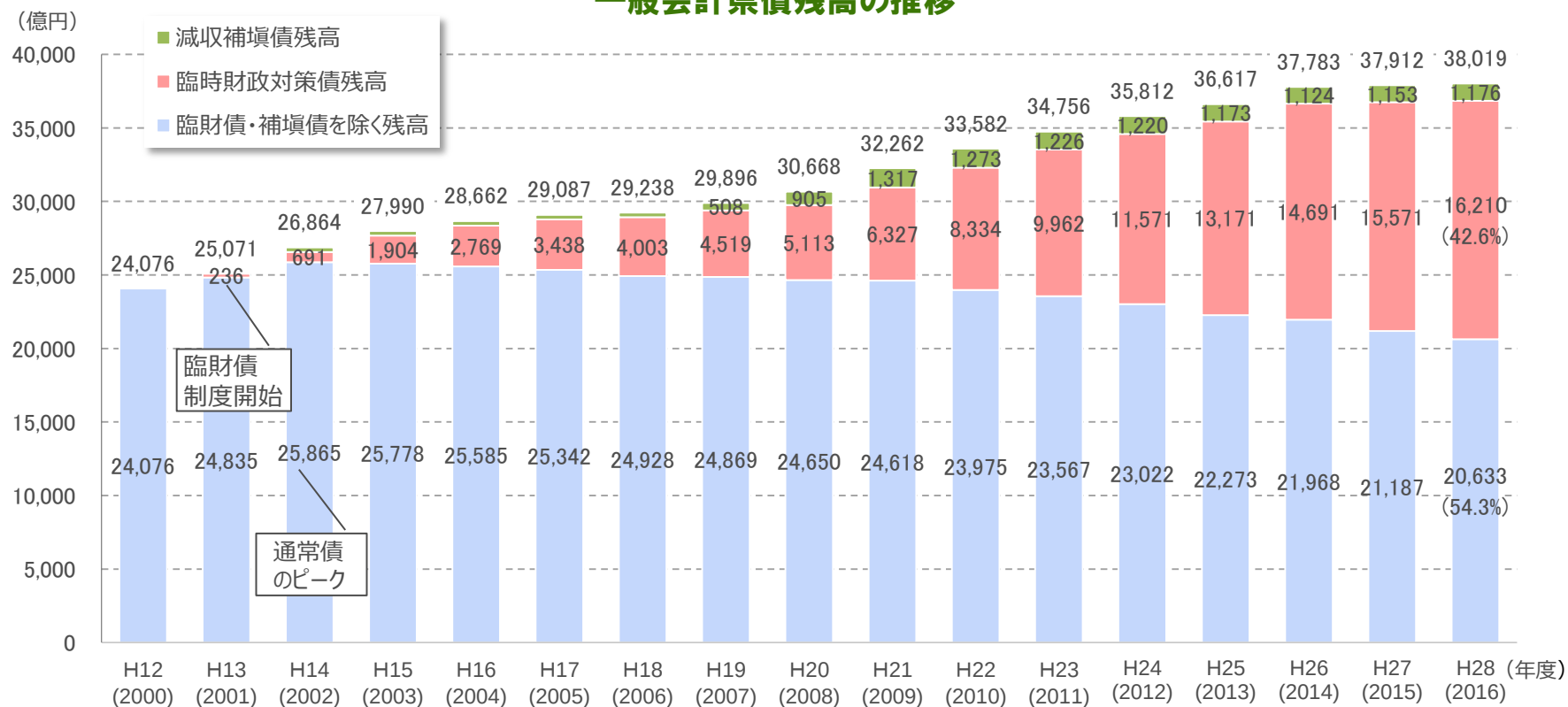


※各年度とも一般会計決算額、地方消費税清算金は含まない

県債残高の適正な管理

- ◆ 平成28(2016)年度末の県債残高は、対前年度比107億円増の3兆8,019億円
- ◆ 地方交付税の振替である臨時財政対策債などを除いた県で発行をコントロールできる県債残高は、適正に管理することで着実に減少
- ◆ 県民1人当たりの県債残高は約52万円で全国**5位**※の低い水準 ※平成27年度普通会計決算ベース

一般会計県債残高の推移

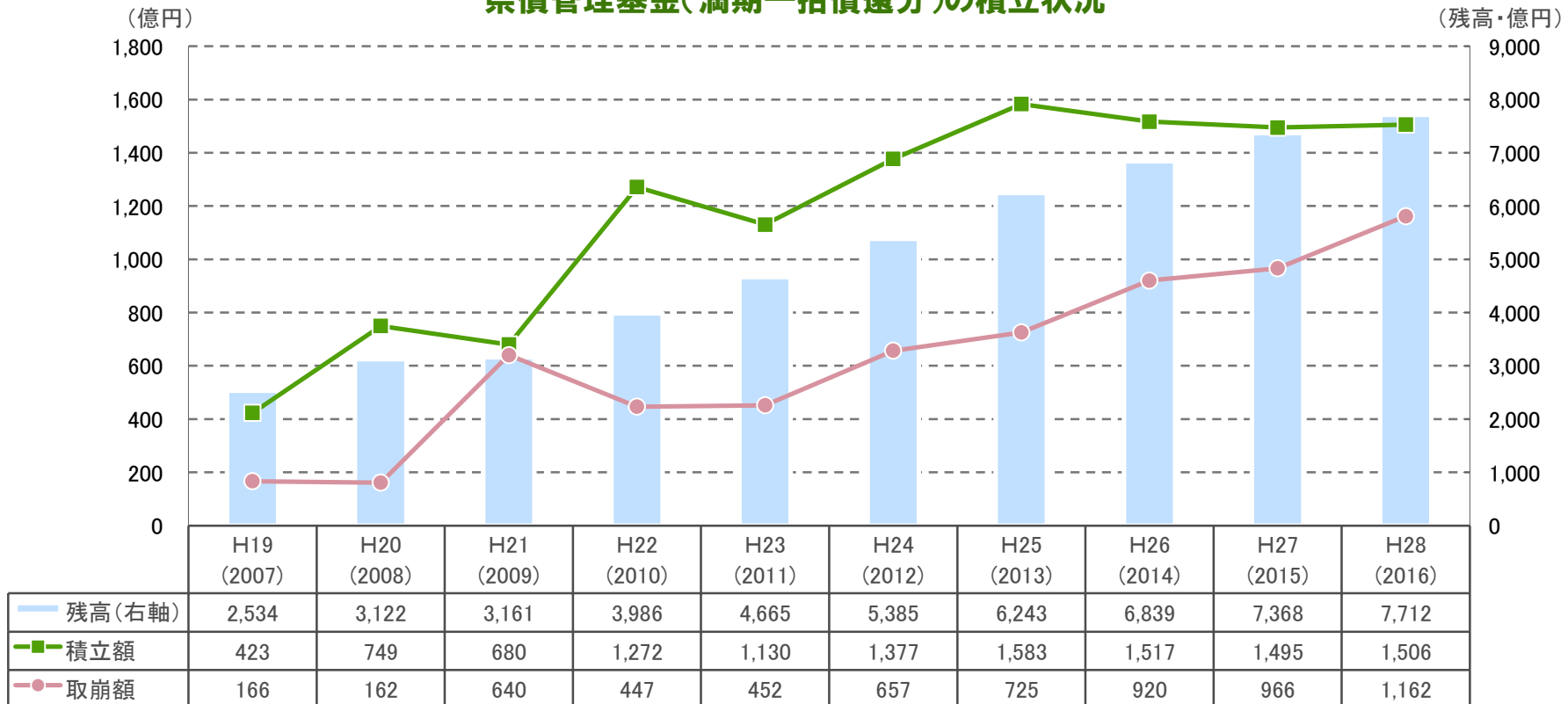


※各年度とも一般会計決算額

償還財源の確保

- ◆ 平成4(1992)年度から満期一括償還の県債を発行。毎年度一定のルールにより、計画的に県債管理基金に償還財源を積立
- ◆ 平成18(2006)年度発行分からは、毎年度の積立額を発行額の30分の1と設定
- ◆ 平成28(2016)年度末の県債管理基金（満期一括償還分）残高は約7,700億円

県債管理基金(満期一括償還分)の積立状況



※各年度とも一般会計決算額

上記「県債管理基金」残高には、財源調整のために積み立てている残高を含まない

平成29(2017)年度当初予算

全会計当初予算 **2兆7,371億円**(対前年度 2.6%減)

重点施策分野

「希望・活躍・うるおいの埼玉」の実現

～未来への投資～

人口構造の変化への挑戦

結婚・出産・子育ての希望実現

シニアの活躍推進

強い埼玉県経済

稼ぐ力の向上

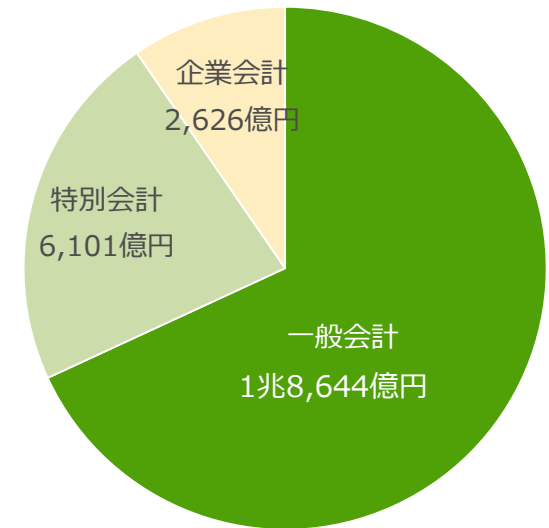
儲かる農業の推進

地域の安心・発展

危機への備えの強化

オリンピック・パラリンピック
などを契機とした地域の活性化

会計別の内訳



一般会計当初予算額の推移

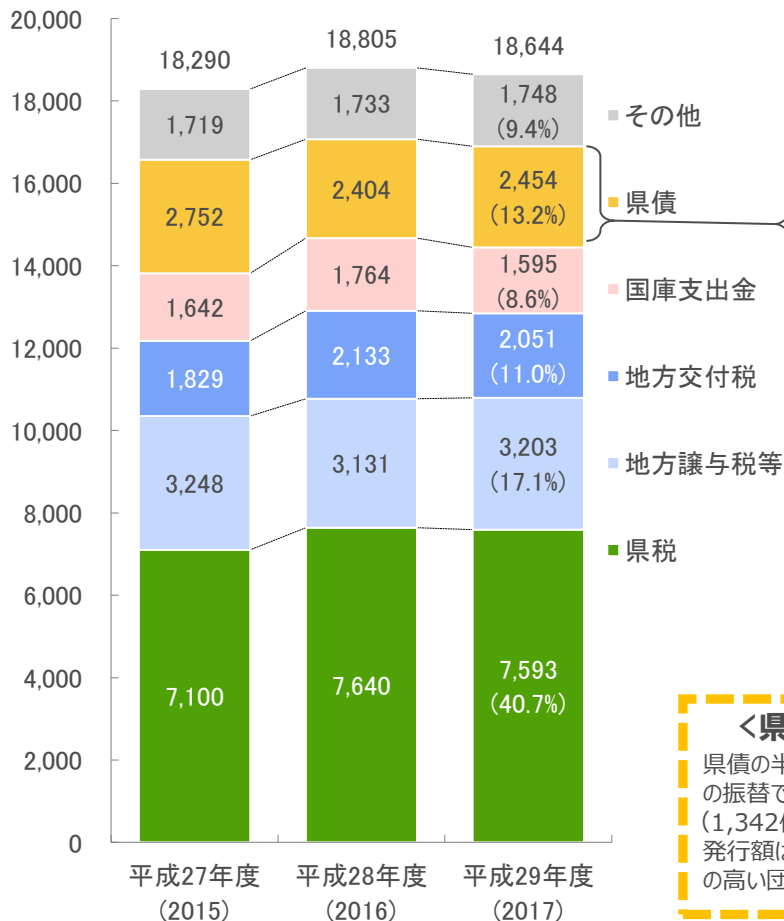
(単位：億円)

	平成20年度 (2008)	平成21年度 (2009)	平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)
一般会計 当初予算額	17,182	16,960	16,764	16,899	16,777	16,757	17,299	18,290	18,805	18,644
伸び率 (%)	0.4	▲1.3	▲1.2	0.8	▲0.7	▲0.1	3.2	5.7	2.8	▲0.9

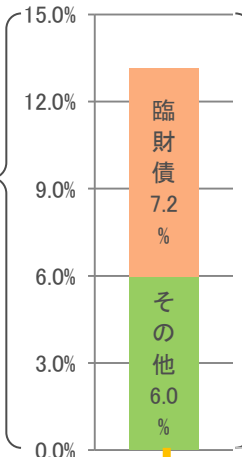
平成29(2017)年度一般会計予算(歳入)

- ◆ 県税、地方譲与税、地方交付税、臨時財政対策債などの一般財源（使途が特定されない財源）は1兆4,189億円（対前年度8億円、0.1%の増）で、歳入全体の76.1%を占め、財政の自主性が高い
- ◆ 県税は平成22（2008）年以來7年ぶりの減少。臨時財政対策債は4年ぶり、県債全体は3年ぶりに増加

（億円） 歳入予算の推移



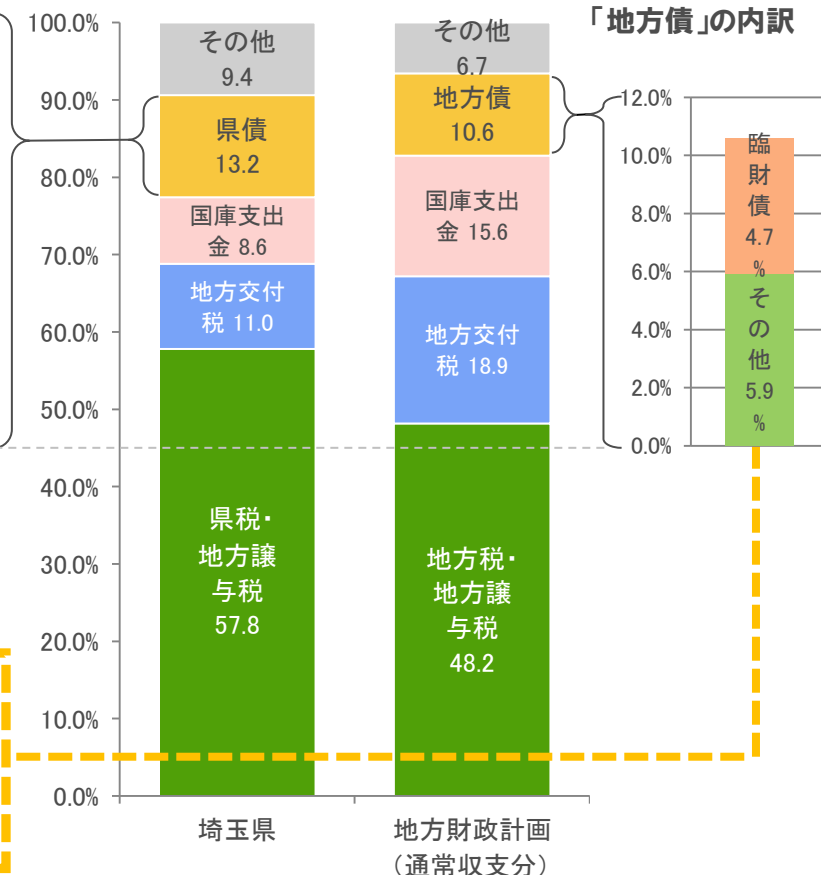
「県債」の内訳



＜県債について＞

県債の半分以上は、地方交付税の振替である臨時財政対策債（1,342億円）。発行額は国が算定し、財政力の高い団体に多く配分される

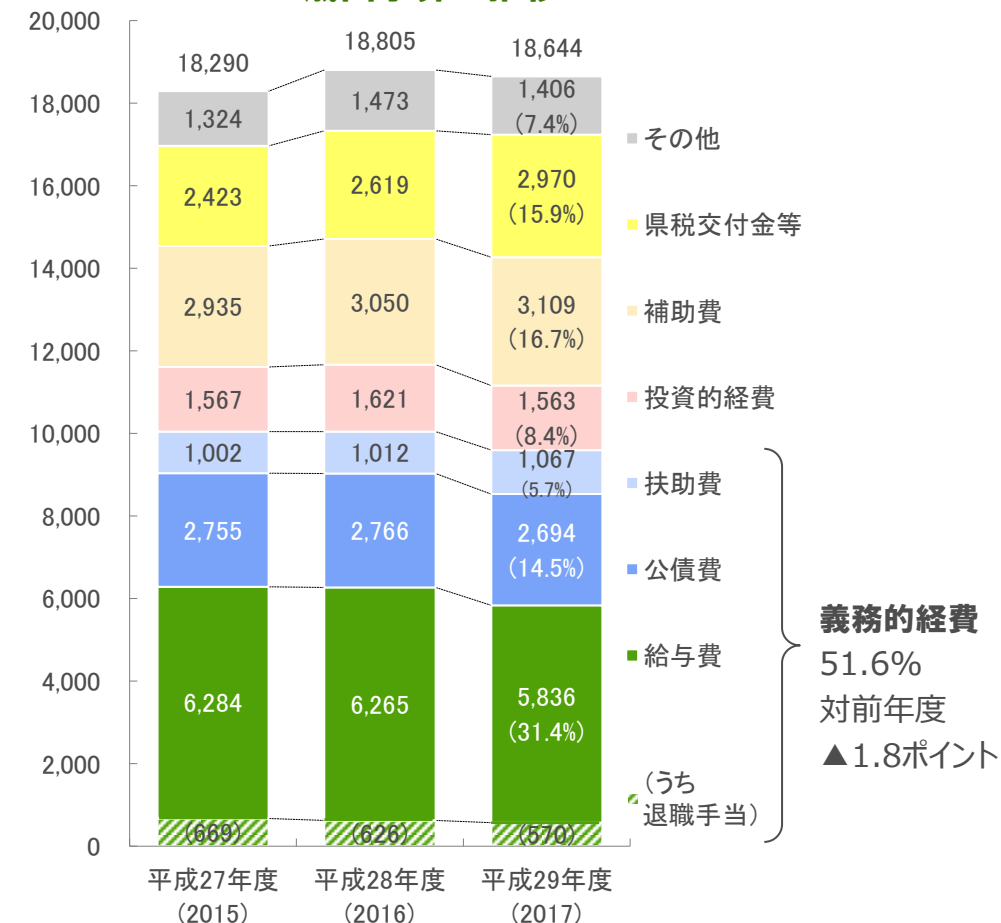
地方財政計画と歳入構造の比較



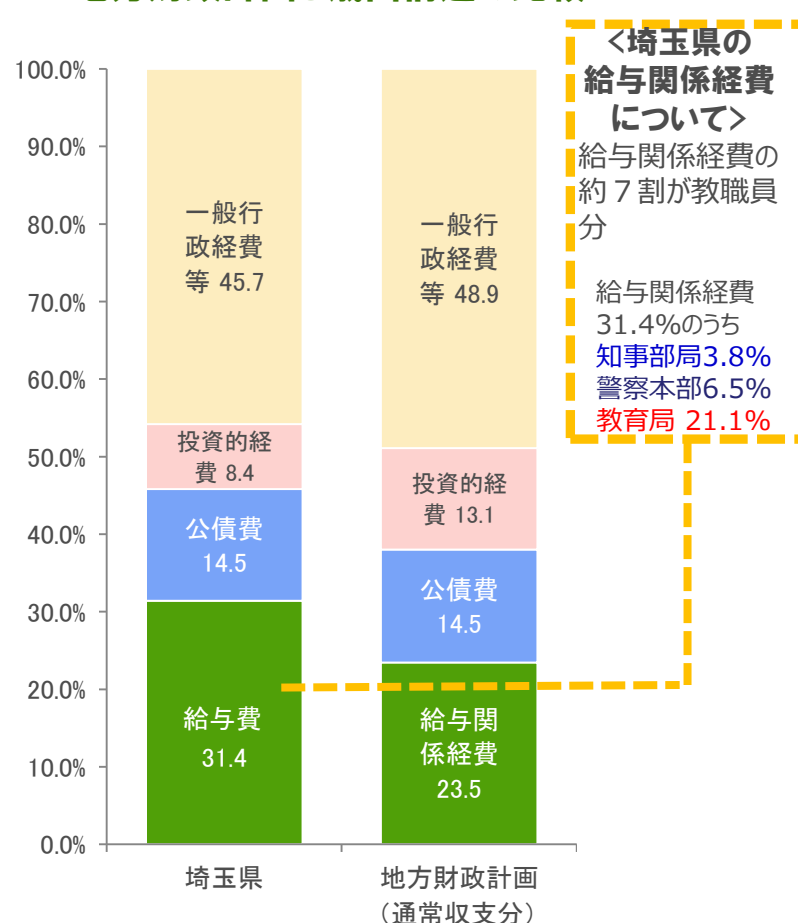
平成29(2017)年度一般会計予算(歳出)

- ◆ 給与費ではさいたま市の教職員給与が法改正により県から市へ移譲されるなどで対前年度▲429億円（▲6.8%）
- ◆ 投資的経費は道路、河川等の公共事業費は対前年度58億円（7.1%）の大幅増だが、前年度完了事業も多く、全体では対前年度▲58億円（▲3.6%）。補助費は対前年度59億円（1.9%）の増。

歳出予算の推移



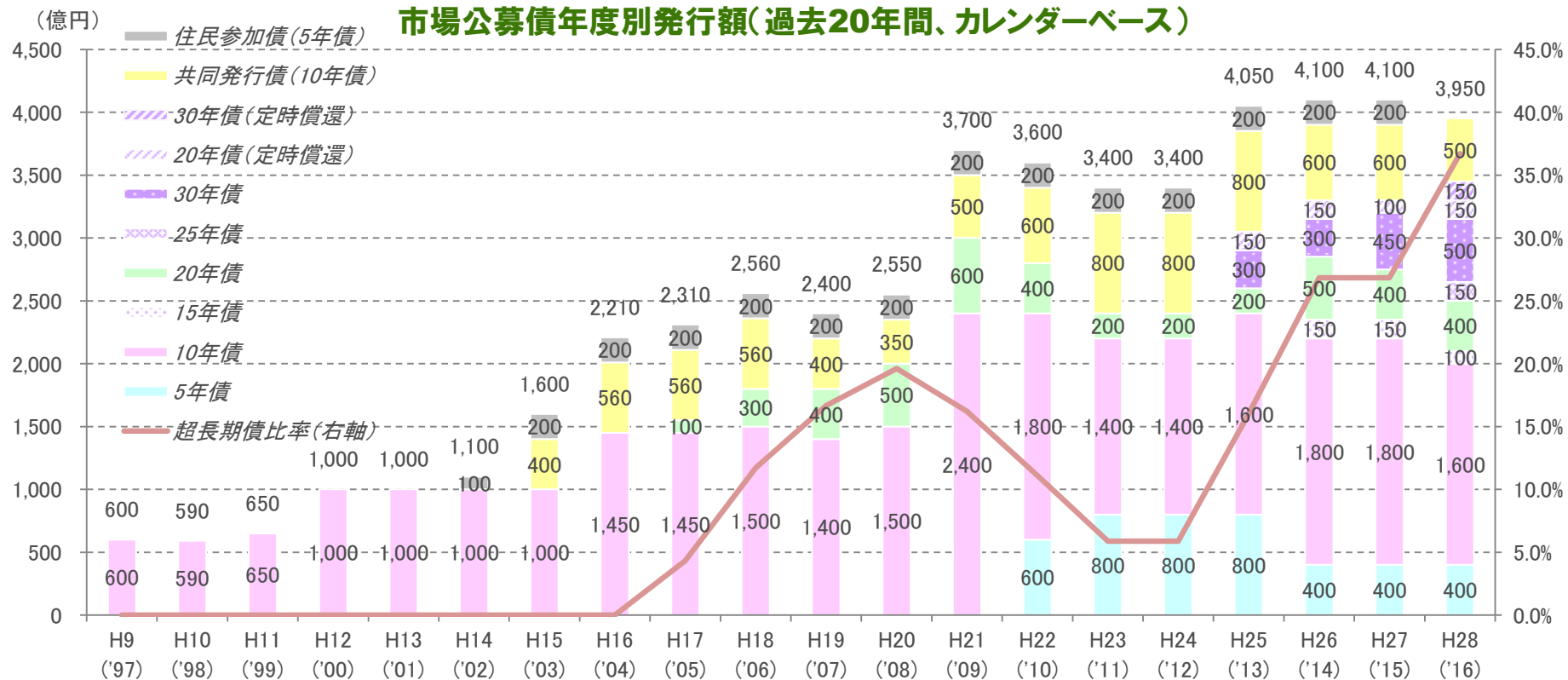
地方財政計画と歳出構造の比較



埼玉県民間資金調達基本方針、発行実績

埼玉県民間資金調達基本方針 安定的な資金調達

1. 市場公募債の発行額の確保と発行ロットの維持
2. 市場環境、投資家需要を踏まえた年限の多様化と機動的な発行
3. I R 活動の充実と格付けの取得による丁寧な市場との対話
4. 持続可能な埼玉県債市場の形成につながる投資家層の拡大
5. 公債費縮減につながる発行方式の多様化



※共同発行債及び住民参加債の各回ロットは省略

平成29(2017)年度市場公募債発行計画、実績

- ◆ 長期債の10年債、中期債の5年債は、月初にシ団・プレマーケティング方式で定例的に平準発行
- ◆ 超長期債は20年債を基幹年限とし、上期と下期に各100億円（フレックス枠を活用した増額有り）
- ◆ フレックス枠は主に超長期債を念頭に設定。投資家動向及び市場環境等に応じ機動的に発行

(単位：億円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10年債	200億円 0.205% C+14.0bp	200億円 0.175% C+14.0bp	200億円 0.190% C+14.0bp	200億円 0.220% C+14.0bp		200億円 0.150% C+14.0bp				200		200	1,400
5年債	200億円 0.010% -						200億円 0.020% -						400
20年債		100億円 0.626% C+4.5bp								100			200
フレックス枠	(20定) 150億円 0.315% MS+10bp	(20年) 150億円 増額	(30定) 200億円 0.677% MS+22bp	(30年) 200億円 0.959% T+11bp		(25年) 150億円 0.781% T+8bp				250			1,100
共同発行債 (10年)	100億円 0.205% C+14.0bp	50億円 0.180% C+14.0bp		100億円 0.225% C+14.0bp	100億円 0.215% C+14.0bp		50億円 0.215% C+16.0bp	50			50		500
住民参加債 (5年)			50 (休止)						50 (休止)				100
合計	650	500	400	500	100	350	250	50	0	200	50	200	3,700

※20年債及びフレックス枠の発行月が未定のため、各月合計と年限別合計は一致しない。 ※発行時期、年限、金額等は、変更となる場合がある。

※「定」：定時償還債

平成28(2016)年度市場公募債発行実績

- ◆ 超長期債で都道府県初の30年定時償還債を2.5倍以上の需要を集めて発行。30年債初の絶対値プライシング導入
- ◆ 10月に公募発行市場（満期一括償還債）において本邦初の25年債を150億円発行、**日経ヴェリタス「ディール・オブ・ザ・イヤー2016」地方債部門ベスト1位、キャピタル・アイ「ベスト・ディール・オブ2016」地方債等部門を受賞**
- ◆ 地方債市場の中で最も優れた発行体として、**トムソン・ロイター・マーケットズ株式会社「ディールウォッチ・アウォーズ2016」の地方債部門「イシュー・オブ・ザ・イヤー」、キャピタル・アイによる「キャピタル・アイ・アウォーズ2016」の地方債等部門「ベスト・イシュー・オブ2016」を受賞**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10年債	200億円 0.080% C+14.5bp	200億円 0.080% (+14.0bp)	200億円 0.070% (+14.0bp)	200億円 0.050% (+14.0bp)		200億円 0.085% C+13.0bp				200億円 0.180% C+12.0bp	200億円 0.249% C+14.0bp	200億円 0.220% C+14.0bp	1,600億円
5年債	200億円 0.020% —						200億円 0.001%* —						400億円
20年債		100億円 0.323% C+4.5bp							100億円 0.536% C+4.5bp				200億円
フレックス枠	(30年定) 150億円 0.495% MS+20bp	(20年) 100億円 増額		(30年) 300億円 0.260% (T+12bp)			(25年) 150億円 0.543% T+9bp	(20年定) 150億円 0.260% MS+10bp	(20年) 100億円 増額	(15年) 100億円 0.430% T+11bp	(30年) 200億円 0.957% T+11bp		1,250億円
共同発行債 (10年)	80億円 0.080%	100億円 0.080%		80億円 0.050%	100億円 0.060%			60億円 0.050%			80億円 0.245%		500億円
住民参加債 (5年)													—
合計	630億円	500億円	200億円	580億円	100億円	200億円	350億円	210億円	200億円	300億円	480億円	200億円	3,950億円

※スプレッドはシ団算出の参考値、() 内スプレッドはスプレッドプライシングのための数値（使用せず）

*応募者利回り0.0006%程度 「定」：定時償還債

県債の格付、受賞等

＜格付機関＞ 株式会社格付投資情報センター（R & I）

＜格 付＞ **AA+** 平成20年～平成28年12月27日【格付維持】 ＜方 向 性＞ **ネガティブ**

＜格付理由（要約）＞

- ・首都圏の中央に位置し、多種多様な産業が集積する全国有数の工業県。充実した交通インフラや積極的な企業誘致もあって、大規模工場とそれを支える中小企業が幅広く立地する。平均年齢の若さと生産年齢人口割合の高さとも全国屈指で県のポテンシャルは高い。圏央道の県内区間の開通により、交通の利便性が高まり、多くの生産・物流拠点が進出している。
- ・上田知事の下、県民サービスの向上と域内経済の活性化、財政健全化に配慮したバランスある県政運営が続くと見ている。

格付符号	定義	発行体（地方自治体、ソブリン）
AAA	信用力は最も高く、多くの優れた要素がある。	—
AA	信用力は極めて高く、優れた要素がある。	AA+：栃木県、 埼玉県 、静岡県、愛知県、神戸市、日本 AA：宮城県、福井県、奈良県、岡山県、徳島県、佐賀県、千葉市
A	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。	

※株式会社格付投資情報センターによる格付

＜受 賞 等＞

平成28(2016)年度	「 DealWatch Awards2016 」地方債部門 "Issuer of the Year" 「 キャピタル・アイ Awards "BEST DEALS OF 2016" 」 地方債等部門 "BEST ISSUER OF 2016" "BEST DEAL OF 2016"	} 埼玉県第1回25年公募公債 発行日 平成28(2016)年10月28日
	「 ディール・オブ・ザ・イヤー2016 （日経ヴェリタス）」地方債ベスト1位	
平成27(2015)年度	「 キャピタル・アイ Awards "BEST DEALS OF 2015" 」 地方債等部門 BEST DEAL OF 2015	埼玉県第3回公募公債(20年・定時償還) 発行日 平成28(2016)年1月26日

インターネットIR情報、お問い合わせ先

埼玉県債

検索



県ホームページにて、「市場公募債発行予定・実績」、「住民参加型市場公募債」、「県債の格付け」、「インターネットIR・関連資料」、「財政情報」など、最新情報を公開しています。

お問い合わせ先

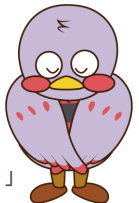
埼玉県企画財政部財政課 民間資金担当

電話：048-830-2178

Eメールアドレス：a2150-01@pref.saitama.lg.jp



ありがとうございました。



埼玉県のマスコット「コバトン(左)」と「さいたまもち(右)」

※ 本日の説明の中でお示した将来の見通し等については、現時点で一定の条件の下に推計したものです。